

飛騨大鍾乳洞 恋人の聖地に

「愛が芽生える」石碑と鐘除幕

静岡のNPOが認定

高山市丹生川町日面の観光施設「飛騨大鍾乳洞」が、少子化対策や地域活性化への貢献をテーマに活動しているNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が認定する「恋人の聖地サテライト」に選ばれた。認定を記念したモニュメントの除幕式が同施設で行われた。（杉原康仁）

同センターは、20の聖地サテライト」と06年からプロポーズして認定している。の場所としてふさわしい観光地を「恋人の聖地」を管理を発光ダイオード（LED）ライトで七色に照らす「愛深スポット」を作るなど、カップルの誘客に取り組んでいる。これらの活動が評価され、今年3月に認定を受けた。

モニュメントは、「苦勞しない」にかけてハートの形にフクロウを表現し、「愛が芽生える」との思いを込めて若葉を飾り付けた石碑と金色の鐘からなる。

除幕式には、県内外のカップル25組と関係者が出席。同施設を運営する飛騨大鍾乳洞観光の中萩久夫社長（69）が「全国から訪れる多

数のカップルが感動と愛を深める聖地としてさらに発展していくことを約束する」とあいさつした。
カップルは鐘を3回鳴らし、モニュメントの前で笑顔で写真に収まった。

「恋人の聖地サテライト」に認定されたことを記念して設置されたモニュメント＝高山市丹生川町日面、飛騨大鍾乳洞

